

はちかさ ～八王子レンタル傘サービス～

HACHIKASA ～ Hachioji Rental Umbrella Service ～

チーム lily
飯田玲菜, 本田杏華, 樽海明日香
指導教員 水元昇
創価女子短期大学 現代ビジネス学科 水元研究室

「誰もが幸せに暮らせる社会づくり」を目指した企画。レンタル傘「はちかさ」を設置することで気候が変動しやすい八王子市での突然の雨や雪の際に利用してもらいたいと考えている。八王子市の商店街には有料サービスとして、バス停には無料サービスとしての設置を検討している。有料サービスはコンビニエンスストアなどでビニール傘を購入するよりも安価で利用することが可能である。この「はちかさ」によって住みやすいまちづくりだけでなく商店街の活性化も目的としている。

キーワード：傘, 雨, レンタルサービス, 地域活性化

1. はじめに

八王子はとても気候が変動しやすく突然の雨・雪が多い。下記のグラフから、東京と八王子市では八王子市の方が東京より全体的にまた、特に雨の多い7月、8月の降水量が多いことがわかる。それにより突然の雨に濡れてしまい困っている学生や社会人の方をよく見かける。

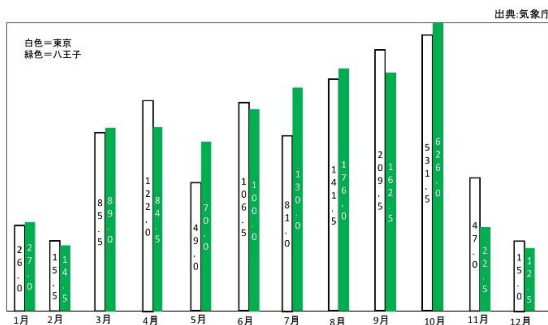


図1 東京と八王子市の降水量の比較

このことから、私たちはチームが目的とする「誰もが幸せに暮らせる社会づくり」を実現したいという思いから、八王子市でのレンタル傘サービス「はちかさ」を企画した。この企画を通して「雨の日でも楽しめるまち」をつくること、それにより人々の生活をより快適に楽しくすることを目指している。

2. 日本の傘事情

ウェザーニュースによる35ヶ国を対象に行われた傘に関するアンケートでは一人当たりの傘の所持率は世界平均が2.4本で日本は3.3本で世界1位となった。しかし日本の年間降水日数は100日程度で35ヶ国中13位である。傘を1人が2本以上所持

する国ほど降水日は多くないようだ。

日本は湿度が高く一旦雨に濡れると乾きにくいことや江戸時代から雨傘が普及していることなどにより日本人の傘の所持率は高いようだ。突然の雨でやむを得ず傘を購入し家に溜まってしまいう人も多いだろう。そこで私達は傘を購入する費用の削減や溜まってしまいう傘を減らす企画提案をする。提案内容は主に二つある。

自分の傘、何本持ってますか？



図2 日本と世界の傘の平均所持数

3. 企画

① 商店街に設置

八王子駅や八王子駅前商店街（西放射線ユーロード）の複数箇所「はちかさ」を設置する。利用対象者は、返却する点を考慮し、駅や商店街をよく利用する地域住民や通勤・通学している方々である。

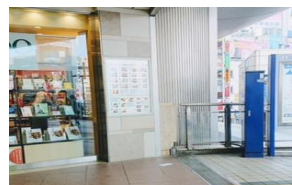


図3 JR八王子駅入口付近



この企画は有料レンタルサービスであり、以下の図のような価格設定である。

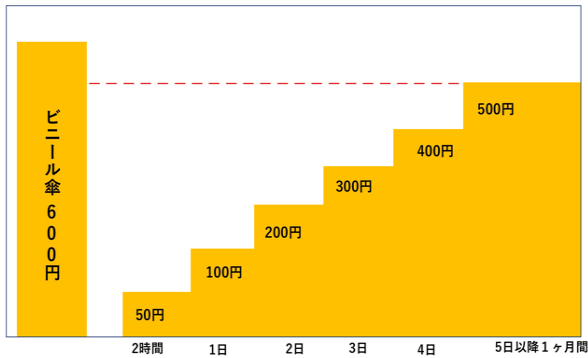


図2 有料サービス「はちかき」料金体系

2時間の利用で50円、1日24時間の利用で100円となり5日以降は500円で利用可能である。また、1ヶ月の月額利用は500円で何度でも使用できる使い放題とする。

コンビニエンスストアでビニール傘を購入すると約500円から700円ほどの値段である。また、布傘をコンビニエンスストアで購入すると、約1500円から2000円ほどの値段である。これに比べ「はちかき」の利用料金は最大でも月額500円のため、コンビニエンスストアでビニール傘を購入するよりも安くなる。

「はちかき」の利用方法は完全登録制とし、メールアドレスとパスワードで簡単に登録が完了する。傘についているQRコードを読み取ることで貸出・返却が可能になる。

また、QRコードを読み取ると近くのおすすめスポットなどが表示されるシステムも検討しており、これにより商店街の経済効果を出すことも目的としている。



図5 QRコードイメージ図

② バス停に設置

八王子市内のバス停に「はちかき」を設置する。八王子は多くのバスが通っており、バス停の数も利用者も多い。また突然の雨や雪によって、バスを待っている間に濡れてしまう人も多く見かける。そこ

で私たちが提案するのが、バス停でバスを待っている際の利用に特化し、乗る前に返却してもらうシステムである。

これにより、屋根のないバス停で雨が降ってきても濡れることなくバスを待つことができる。

以下の図のようにバス列の後方に貸出し用の傘立てを設置し、バスに乗る前に返却用の傘立てに傘を返却してもらう仕組みである。

なお一つの企画とは異なり、経済効果・収益はない。



図6 バス停に設置のイメージ図

3. 最後に

私たちの提案するこの「レンタル傘サービスはちかき」は突然の雨や雪によってやむを得ず購入し、家に溜まってしまいう傘を減らすことが出来る。また、このように人々の生活の改善にも繋がることはもちろん、傘を購入する費用やゴミとして捨ててしまう傘も減らすことが出来るため節約・ECOにも繋がる。

海外では傘のシェアリングサービスは浸透している。しかし、日本ではあまり浸透しておらず認知度も低い。この「はちかき」を実現することによって、八王子からシェアリングサービスを普及していきたい。

5. 参考文献

【図1】気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

【図2】ウェザーニュース

<https://jp.weathernews.com/news/4270/>

コンビニ LIKE

<http://conveni-like.com/kasa-hikaku-1160>